	山高等専	÷I J -J-	· 仪	開講年度	平成30年度 (2	010牛/支)	授業科目	IH+IX1、ノ	トワークI	<u>.</u>	
科目基礎	的野牧	1	120			科目区分	丰 四 / 3	3+0			
科目番号		-	30								
授業形態		授				単位の種別と単位		履修単位: 1			
開設学科				対象学年 5 朗時間数 2							
開設期	++		後期 週時間数 2 シスコ技術者認定試験公式ガイドブックCISCO CCENT/CCNA (インプレスジャパン)								
教科書/教 担当教員	12	一 フヘコ技術有認定試験公式ガイトノックCISCO CCENT/CCNA (インノレスシャパン) 阿蘇 司									
230页 到達目標		[PPJ	無不 口」								
		U #-II	11名の1 ア ウ		の出口も確認する。	レがマキフ					
1) ネット 2) ネット 3) 基礎的	フークソー ワーク構築 なネットワ	を行う	E牌してイ うために必 構築と管理	ットワーグ設定 要な中継機器に に関する設定を	の状況を確認するこ 関する基礎的知識を 行うことができる。	こができる。 応用できる。 					
ルーブリ	ブリック										
					型想的な到達レベルの目安 標準的な到達レベ 標準的な到達レベ			未到達レ	未到達レベルの目安		
評価項目1				ネットワークツ , ネットワーク し, 問題の有無 ことができる。	ールを理解して 設定の状況を確認 について考察する	ネットワークツー , ネットワーク設 することができる	ネットワない。				
評価項目2				継機器について 方法を理解して	ての役割および適用 継機器について, その違いを理解 継機だいる。			継機器に いない。	0		
評価項目3	;			ネットワーク構 レス設計および を理解して実践	築におけるIPアド 機器への設定方法 できる。	レス設計および機器への設定方法 レス			ーク構築にお および機器へ ない。	けるIPアド の適用を理	
学科の到	J達目標I	自日と	の関係								
	アポリシー	1									
教育方法	:等										
概要		ネ ワ 機	ットワーク ークツール を用いた	クに関する知識と ルの使用方法とネ ネットワーク構築	こして、ネッワーク! ネットワーク接続にて 色の演習・実験を行う	ソール活用とTCP/I Oいての学習と実験 うことにより,ネッ	Pネットワークを を行い、後半に トワーク管理に	構築について は応用として こ必要な基礎	学習する。前 ルータ等の中 知識と実践方	〕半はネット 継機器の実 法を学ぶ。	
受業の進め	か方・方法	学	習内容の	単位毎に演習課題	風の時間を確保し、	学習内容の定着を高	ら める。				
主意点		単	位認定に	ま、60点以上の	D評定が必要である。						
受業計画	1										
		週	授業内容				週ごとの到達目標				
		1週	ガ	イダンス			講義の目標と概要について理解する。				
		2週	ネ	ットワークツー	トワークツール(1)			ネットワーク設定確認のためのネットワークツールに ついて学ぶ。			
		3週	ネ	ットワークツール(2)			ネットワークツールを用いて設定を確認するための演習を通じて学ぶ。				
	3rdQ	4週	ネ	ットワーク接続	ラットローク#			築のためのL			
		5週	ネ	ットワーク接続	トワーク接続(2)		L2スイッチを用いたLAN構築の設定について演習を通じて学ぶ。				
		6週	ネ	ットワーク接続	(3)		.2スイッチを用いたVLAN構築の設定について演習を 通じて学ぶ。				
		7週	問	題演習			これまでの学習内容について, 問題演習によりまとめ を行う。				
後期		8週	確	認試験 これまで <i>0</i>			これまでの学習	学習内容についての理解度を確認する。			
		9週	ネ	ットワーク設計			ネットワーク構! ぶ。	ットワーク構築におけるIPアドレス設計について学			
	4thQ	10退	ネ	ネットワーク設計(2)			ネットワーク構築におけるIPアドレス設計について演習を通じて学ぶ。				
		11退	ネ	ットワーク設計(3)			ネットワーク構築における経路設計について学ぶ。				
		12退	ネ	ネットワーク設計(4)			ネットワーク構築における経路設計について演習を通 じて学ぶ。				
		13週 ネ		ネットワーク設計(5)			ネットワーク構築における自動経路設定について演習 を通じて学ぶ。				
		14退		問題演習			これまでの学習内容について,問題演習を行うことに よりまとめと確認を行う。				
							講義内容に対応した試験を行う。				
		16退		績確認		Ē	構義のまとめと	式績確認を行	ゔ。		
モデルニ]アカリ=	トユラ	ラムの学	習内容と到達	目標				T		
分類		-	分野	学習内容	学習内容の到達目標	<u> </u>			到達レベル		
専門的能力					ローカルエリアネットワークの概念を説明できる。				4	後4,後5	
				 情報通信ネ ットワーク	インターネットの概念を説明できる。				4	後1	
	分野別の 門工学	の専	情報系分		TCP/IPの4階層について、各層の役割を説明でき、各層に関係する具体的かつ標準的な規約や技術を説明できる。				4	後1	
					ネットワークを構成するコンポーネントの基本的な設定内容について説明できる。			4	後2		
				I	いに武明し合る。						

					SSH等のリモートアクセスの接続形態と仕組みについて説明できる。				4	後3
					基本的なルーテ	ィング技術につい	ハて説明できる。		4	後11,後 12,後13
					基本的なフィル	タリング技術に			4	後6
					複数の情報を整	理・構造化できる	る。		3	
分野横断的 能力	汎用的技能		汎用的技術	形用的技能 形用的技能	適切な範囲やレベルで解決策を提案できる。				3	後12
					事実をもとに論理や考察を展開できる。				3	後7,後1
評価割合										
		試験		演習レポート	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他		合計
総合評価割合		80		20	0	0	0	0 10		100
基礎的能力		30		10	0	0	0	0		40
専門的能力		40		10	0	0	0	0		50
分野横断的能	t力	10		0	0	0	0	0	•	10